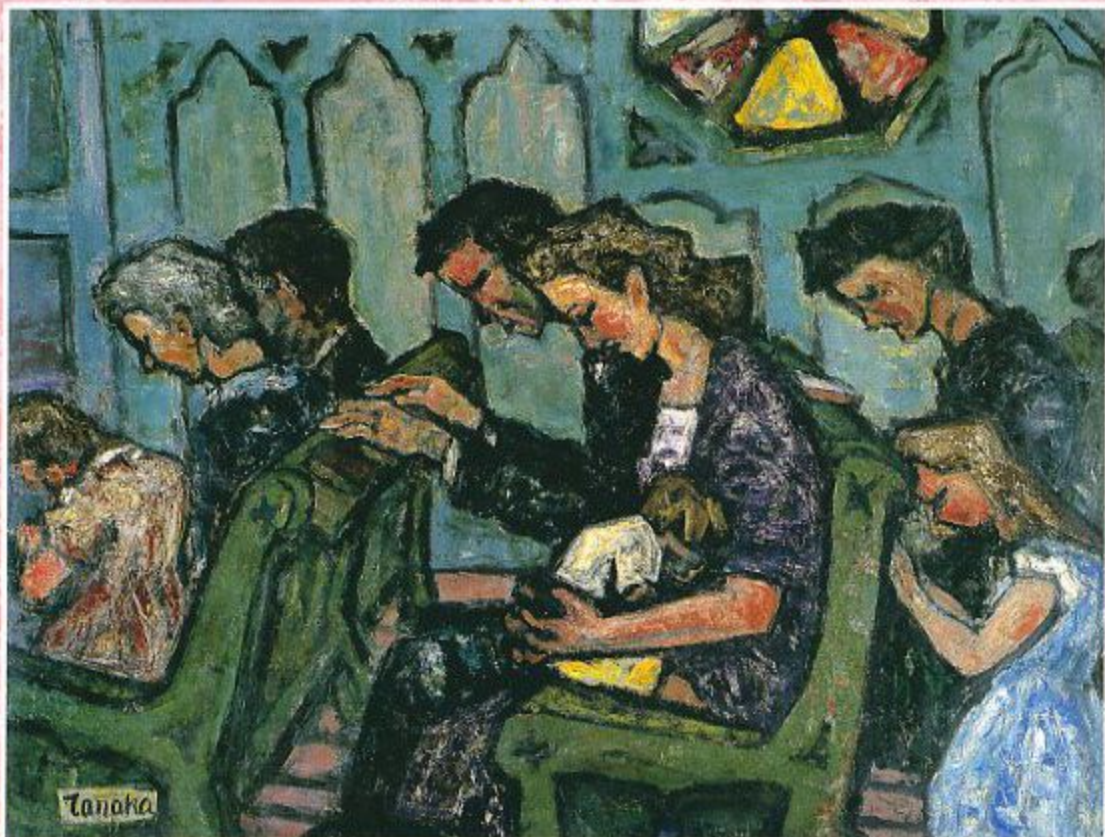


田中 忠雄回顧展

1998 4月18日 土 - 6月21日 日 [展示室2・3]

Tanaka Tadao



『My Kingdom Come』みくにも来たらせ給え 1950 本館蔵

■ 講演会

4月19日 日
5月3日 日

「“平和財”を通り抜けた一絵描きの情
～田中忠雄の生涯と画業」
「絵描きにとっての信仰告白
～田中忠雄のキリスト教絵画」

当館2階 絵画学習室 定員80名(当日整理券を配布)
講師 国際基督教大学名誉教授 田中文雄氏

☆ 当日とも
午後2時～3時30分

■ 解説会

毎週土曜日 午後1時～
(当館学芸員のスライドによる作品解説)

主催/神戸市立小磯記念美術館
神戸新聞社
後援/サンテレビジョン、AM神戸

同時開催 収蔵作品展Ⅰ(展示室1)

神戸市立小磯記念美術館

Kobe City Koiso Memorial Museum of Art

〒658-0032 神戸市東灘区富沢町4-7 TEL 078-557-5880

◆ 観覧時間 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

◆ 休館日 毎週月曜日(ただし5月4日は閉館)、5月6日

◆ 入館料

	一般	高校・大学生	小学・中学生
当日	600	550	300
前売	700	450	200
団体	600	400	150

※団体は3名以上
前売は神戸プレイカードで発売



◆ 交通 39分神戸駅(古町) 徒歩約15分(南へ15分)
ライナー(アライメントビル) 駅下車、西へ徒歩すぐ

神戸市立小磯記念美術館

100

100

特別展
田中忠雄
 回顧展



アトリエにて



「ナザレの人」1963 日本キリスト教会館蔵



「モーセ十戒を示す」1956 本館蔵



「イェズと幼子」1982 個人蔵



「湖畔の旅人」1978 北九州市立美術館蔵

Tanaka Tadao



「聖告」1990頃 個人蔵

田中忠雄(1903-1995)は、北海道札幌市に生まれました。父は牧師であり、幼い頃からキリスト教を信仰する環境のなかに育ちましたが、洗礼を受けたのは17歳になってからの事でした。田中忠雄は、札幌では中学生をリーダーとした戸外写生のグループに参加し、熱心に絵を描いていたものの、11歳の時、父の転任のために神戸に移住することになります。田中忠雄は、神戸でも一人で写生を続け、小学校で絵を通じて、親友の一人であった岸上(小磯)良平と親しくなります。後に小磯良平は、絵を本格的に描くことになったのは、この時の田中忠雄との交友による刺激が大きいと語っています。田中忠雄は、兵庫県立第二神戸中学校から京都高等工芸学校図案科に進み、卒業後東京市技手として都市計画に携わっていましたが、すぐに退職、前田寛治に師事して絵画を学びます。そして、戦後、キリスト教の主題に基づいた絵画を制作するようになります。終戦後の大変しい日本に、田中忠雄は、およそ2000年前にローマに占領されていたユダヤの状況を思い、聖書の教えが現在に通じるものであることをあらためて認識し、現代社会と聖書の記述とを関連付けて絵画を作成することに、自らの信仰を見いだしたのです。田中忠雄の作品は、主題により、非常に厳しく、また、温かく素朴な情愛に満ちたものとして完成しています。それは、宗教の別を超え、見るものに力強い感情として伝わることでしょう。このたびの展覧会は、キリスト教の主題以外の戦前の作品も含めて、田中忠雄が生涯に制作した、油彩・素描・版画・ガラス絵などによりその画業を振り返ろうとするものです。

次回展覧会のお知らせ

1998年 7月2日(木) ▶ 9月6日(日)

企画展(展示室3)

「神戸の洋画・戦後の再出発展」

小磯良平、田村孝之介をはじめとする神戸ゆかりの洋画家約10名の、1940年代から50年代頃までの作品を展示し、戦後の復興の過程の中で神戸洋画界の再興と歩みを振り返ります。

同時開催(展示室1・2)

「収蔵作品展Ⅱ」

本館の収蔵する小磯良平の作品を展示します。